

2011年11月10日

2012年3月期 第2四半期

(2011年4月～2011年9月)

# 連結決算説明資料

株式会社MCJ

東証マザーズ:6670

## 連結業績サマリー

## 各利益において第2四半期の過去最高益を更新

## 累計期間（4～9月）

- 主力のPC販売が好調を維持し、売上総利益率が向上
- 円高ドル安も原価低減に寄与
- いずれの利益も、第2四半期の過去最高益を更新

	2011年3月期 第2四半期	2012年3月期 第2四半期	対前年比
売上高	41,241	38,876	- 5.7%
営業利益	1,409	1,487	+ 5.5%
経常利益	1,539	1,623	+ 5.5%
四半期純利益	870	886	+ 1.8%

(単位:百万円)

## 会計期間（7～9月）

- 前年は、ファイナルファンタジーXIVのWindows版の発売時期にあたり、高単価なPC・パーツの販売が好調であった
- 各利益は前年を下回ったものの、予算は上回った

	2011年3月期 第2四半期	2012年3月期 第2四半期	対前年比
売上高	20,735	18,828	- 9.2%
営業利益	863	592	- 31.4%
経常利益	1,104	662	- 40.0%
四半期純利益	678	376	- 44.5%

(単位:百万円)

## 連結業績予想比

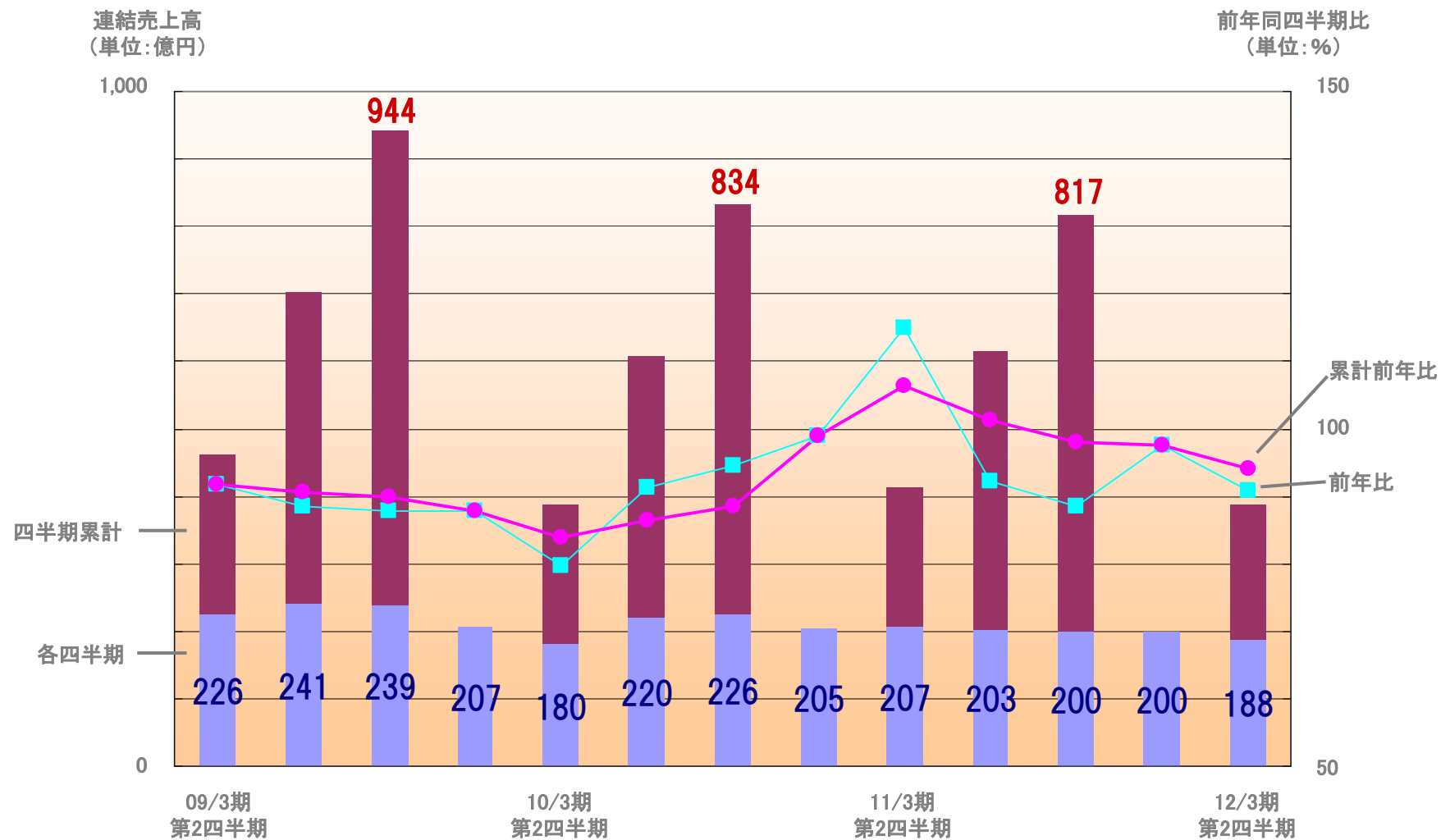
## 各利益とも8/1発表の第2四半期予想数値を上回る

	2012年3月期 第2四半期 実績	2012年3月期 第2四半期 8/1修正予想	達成率	2012年3月期 通 期 8/1修正予想	進捗率
売 上 高	38,876	39,100	99.4%	82,400	47.2%
営 業 利 益	1,487	1,000	148.7%	2,000	74.4%
経 常 利 益	1,623	1,100	147.6%	2,200	73.8%
四 半 期 純 利 益	886	600	147.7%	1,200	73.8%

(単位:百万円)

連結売上高推移

小売部門のパーツ販売が前年比で減少



## 連結業績前年比

## 粗利率の向上により、減収ながら増益に

	2011年3月期 第2四半期		2012年3月期 第2四半期		前年比 増減	
	金額	売上対比	金額	売上対比	金額	売上対比
売上高	41,241	100.0%	38,876	100.0%	△ 2,365	—
売上原価	33,774	81.9%	31,199	80.3%	△ 2,575	- 1.6%
売上総利益	7,467	18.1%	7,677	19.7%	210	+ 1.6%
販管費	6,057	14.7%	6,190	15.9%	133	+ 1.2%
営業利益	1,409	3.4%	1,487	3.8%	78	+ 0.4%
経常利益	1,539	3.7%	1,623	4.2%	84	+ 0.4%
税引前純利益	1,453	3.5%	1,494	3.8%	41	+ 0.3%
四半期純利益	870	2.1%	886	2.3%	16	+ 0.2%

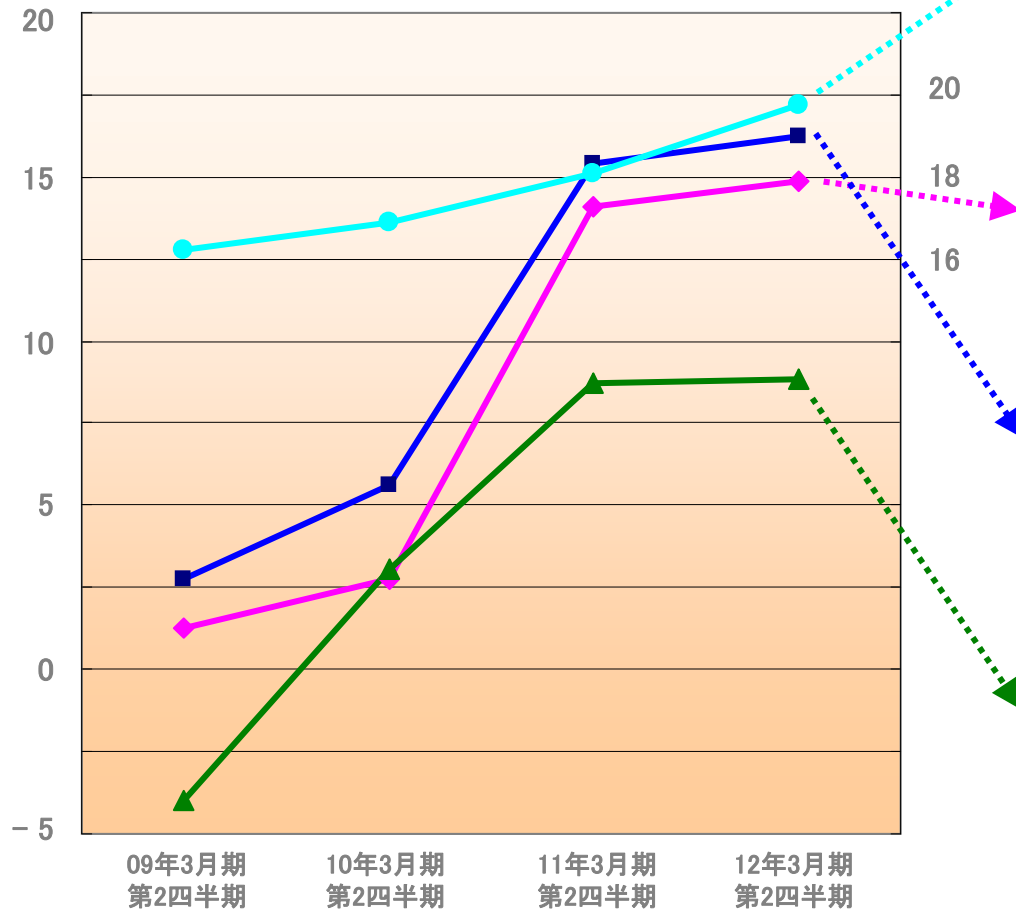
(単位:百万円)

連結利益推移

主力のPCが好調で、各利益とも過去最高益を達成

累計利益額  
(単位:億円)

粗利率  
(単位:%)



粗利率 19.7%

- 主力のPCが好調な一方、粗利率の低いパーツの売上が低迷
- 円高により仕入価格が低減

営業利益 14.8億円

- 粗利率の向上による粗利増
- 積極的な広告宣伝により販管費微増

経常利益 16.2億円

- 為替は若干の差損を計上したのみ
- 受取手数料・受取賃貸料が増加

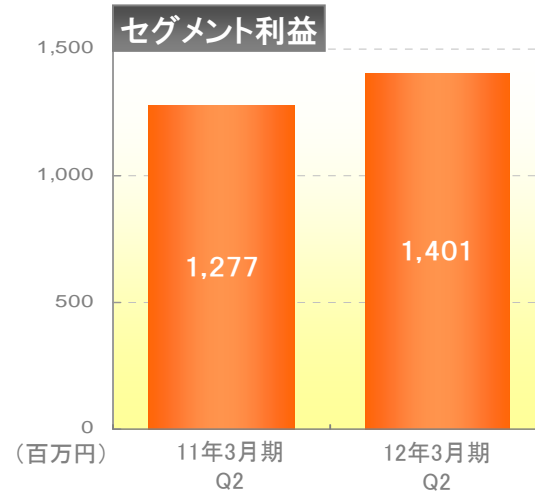
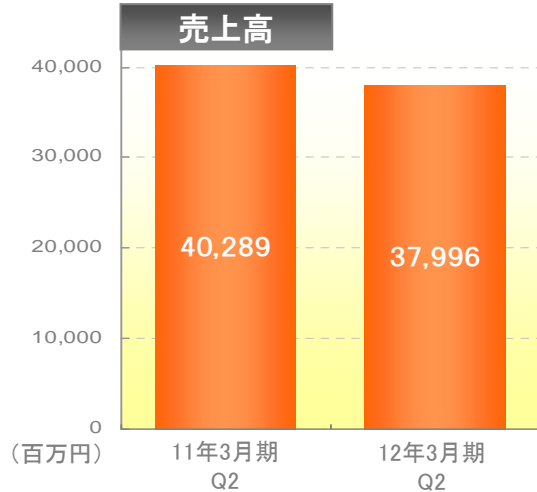
当期純利益 8.8億円

- 和解金、システム置換・オフィス移転等に関する特別損失を計上

セグメント情報

PC事業は減収ながら増益、出版事業は減収減益

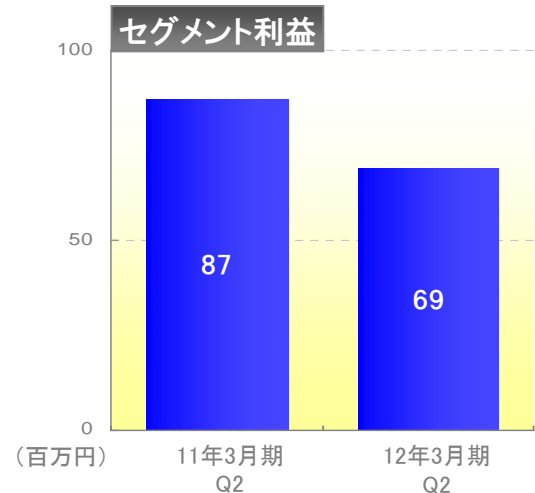
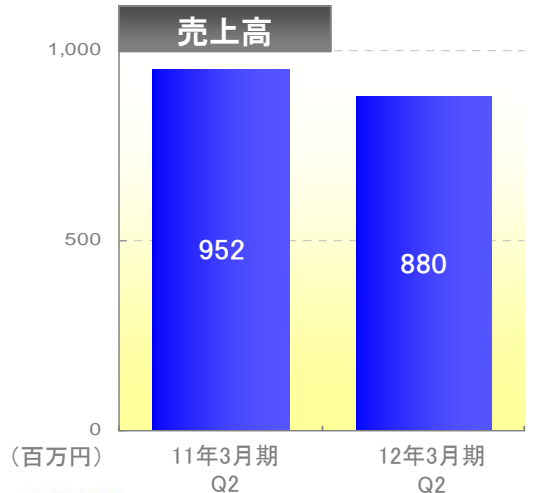
■ パソコン関連事業



主な要因

- 積極的な広告宣伝・販売促進により、PCは出荷台数・金額とも前年を上回る
- 東日本大震災の影響もあって客足が落ち込み、小売店舗の売上が減少
- パーツ販売が一部の製品を除いて低迷
- 液晶ディスプレイの欧州販売は、出荷台数が前年を上回ったものの、ユーロ安により円建てでは減少

■ メディア事業



主な要因

- 出版市場は引き続き縮小傾向
- 前年はマイクロソフト社のオフィス統合ソフトの発売が開始され、関連する新刊本が出荷された時期にあたるため、前年比では売上・利益とも減少

## 借入金を圧縮しつつ、M&amp;Aに備えて正味現預金を増加

## ■ 連結キャッシュフロー

	2011年3月期 第2四半期	2012年3月期 第2四半期
営業活動による キャッシュフロー	1,706	1,340
投資活動による キャッシュフロー	△ 16	△ 1,131
財務活動による キャッシュフロー	△ 1,152	△ 1,941

(単位:百万円)

## 前年との比較

- 仕入債務減少、法人税等支払額などにより営業CF減少
- 店舗不動産、情報システム等に投資
- 借入金を返済

## ■ 財政状態

	2011年3月期	2012年3月期 第2四半期
総資産	36,973	35,194
純資産	15,344	16,366
自己資本比率	40.5%	45.6%
現金及び現金同等物	13,120	11,568
有利子負債	11,720	9,759

(単位:百万円)

## 前期末との比較

- 純資産増加、自己資本比率向上により健全性を維持
- 実質無借金状態を維持し、正味現預金を増加



## 業績予想

## 好調な業績ながら、現時点では通期予想を据え置き

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
5/13公表予想	82,000	1,800	1,900	1,100
売上高比率	-	2.2%	2.3%	1.3%
8/1修正予想	82,400	2,000	2,200	1,200
売上高比率	-	2.4%	2.7%	1.5%
前 期	81,703	2,788	3,071	1,501
対 前 期 増 減 率	+ 0.9%	△ 28.3%	△ 28.4%	△ 20.1%

(単位:百万円)

- タイにおける大規模な洪水によりHDD主要メーカーの生産工場が被害を受け、HDDの供給不足が発生しており、HDD仕入コストの上昇が懸念されるため、通期予想を据え置き
- 今後、業績予想の修正が必要となった場合には速やかにお知らせいたします

配当予想

通期予想据え置きにより、配当予想も据え置き

	2011年 3月期 (実績)	2012年 3月期 (5/13予想)	2012年 3月期 (8/1予想)
年間1株当たり 配 当 金	305円00銭	2円17銭	2円36銭
配 当 性 向 (連 結)	10.0%	10.0%	10.0%
純資産配当率 (連 結)	1.0%	—	—

(注) 本年10月1日を効力発生日として、現在の株式1株を100株に分割

## ■本資料取扱上のご注意

本資料に記載された業績予想および将来予測は、作成時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断・記載したものであり、不確実な要素を含んでいます。実際の業績は、様々な要因及び業況の変化により、記載されている予想とは大きく異なる可能性があることをご了承ください。

本資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、未監査であり、その内容の正確性及び確実性を保証し、または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。

本資料は情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行っていただきますようお願いいたします。

本資料及びデータの無断転用・転載等をご遠慮ください。



【お問合せ先】

IR担当

TEL:03-5821-7114